



岩 中 通 信

第 12 号

令和 5 年 3 月 14 日

第 23 回卒業証書授与式「式辞」

校長 木村 博



厳しかった寒さも和らぎ、ようやく春の訪れをすぐ近くに感じられる時期を迎えました。

本日は、村上市教育委員会 管理主事 仙田 満 様、地域の御来賓の皆様、そして、保護者の皆様のご臨席のもと、第 23 回卒業証書授与式を挙げてまいりましたこと、心より感謝を申し上げます。

今、中学校の課程を修了したことを示す卒業証書を手にした 37 名の卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。こうして、マスクのない全員の顔を見ていると、いつもよりキリリと引き締まり、未来に向けて歩み出す決意に満ちているように感じます。そして、卒業生のこれまでの歩みを見守り、励まし、寄り添ってこられた保護者の皆様、本日は誠に

おめでとうございます。我が子の晴れの姿に、感慨もひとしおのことと拝察いたします。

さて、今年度、3 年生を中心にした生徒会活動では、「協進」のスローガンのもと、「当たり前がみんなのできる岩中」「いつでもしっかり挨拶ができる岩中」「誰とでも手を取り合える岩中」の三本柱を活動の中心に据えてきました。今振り返ると、この三本柱は、中学校生活にとどまらず、人が社会に出て、信頼を得て、幸せな生活を送っていくために必要なこと、そのものではないかと思えます。そのような大事なことを、3 年生は率先して実践して今日の日を迎えてくれました。皆さんの返事や挨拶のすばらしい姿に、何度も胸が熱くなりました。本当にありがとう。

岩中大祭などの新しい行事にチャレンジしてくれたこと。岩船のまちづくりに貢献しようと、総合学習で「岩船いいところみつけ」を作り、オリジナルのロゴマークやキャラクターを制作してくれたこと、など。これらは岩船中の歴史に残り、きっとこの先も引き継がれたり、中学生がまちづくりに貢献していく基盤となって活用されたりする、大きな偉業だったと感服しています。そして、新型コロナウイルス感染症の影響で 3 年間ずっと多くの制限を受けて生活してきたにもかかわらず、様々な活動に、元気に笑顔で気持ちよく取り組む皆さんの姿が、私は大好きでした。すばらしい毎日を本当にありがとう。

いよいよ次のステージに進む皆さんへ、やはり私はこの話を送り出したいと思えます。それはいつも話しているように、「夢や希望、目標を持ち、その実現に向けて努力してほしい」。そして、その実現のために、「主体性を高めてほしい」ということです。

幕末から明治維新に、大きな影響を与えた思想家・吉田松陰の言葉に、「夢なき者に理想なし、理想なき者に計画なし、計画なき者に実行なし、実行なき者に成功なし。故に、夢なき者に成功なし。」というものがあります。

こういう仕事に就きたい、こういう人になりたい、こういう生活をしたい、など、具体性や大小の違いはあっても、様々な夢や希望・目標を持つことに遠慮はいりません。なりたい自分を堂々と掲げ、一步一步それを目指して進んでほしいと思えます。「夢なき者に成功なし」です。そして、その実現を目指す歩みは、必ず、「自ら進んで、自ら考え、自ら判断・決断し、自ら責任をもって行動する」という、主体性を発揮したものになるはずで、実現させたい思いが、強ければ強いほど、自然と主体性はどんどん高まり、実現に近づくことができるはずで、だから私は、「夢や希望を強くいただき、実現を念じて努力する者は、きっと実現できる」と信じています。

さらに、そうやって努力する姿は、必ず周りの人を引きつけ、自分を応援してくれる人に出会えます。つらいことがあったとしても一人で抱え込まず、無償の愛で皆さんを応援し続けてくれる家族をはじめ、多くの人の支えを得ながら、乗り越えてください。その道は、きっと充実感や幸せをもたらしてくれるはずで、私たち岩船中学校の教職員も、大好きな皆さんのこれからを応援しています。校長室に掲示してある皆さんが書いてくれた夢・希望・目標を達成し、すてきな人生を歩んでいくことを期待しています。

結びに、卒業生の皆さんの未来が光り輝き、幸多きことを心から祈念して、式辞といたします。

思いの詰まった感動の卒業式！

3/6(月)、穏やかな春の日差しの中、第23回卒業証書授与式を行いました。3年生の未来への新たなスタートに多くの御来賓の皆様、保護者の皆様から祝福をいただき、晴れやかな顔で37名の卒業生が歩みを始めました。在校生は、上級生としてこれまでの学校生活をリードしてくれたことに、卒業生はこれまで支えてくれた家族・地域の方・後輩・先生方へ、それぞれが「感謝」の思いを表現したすばらしい式だったと思います。



盛大な拍手の中、卒業生の入場です。



国歌・校歌が会場中に響き渡りました。



卒業証書授与。



手にした卒業証書は、3年間の頑張りの証。



送辞

冬の寒さも和らぎ、柔らかな日差しの中に春を感じられる季節となりました。

このよき日に、卒業証書を手にした三十七名の卒業生の皆さん、御卒業おめでとうございます。在校生を代表して、心よりお祝い申し上げます。

思い起こせば、先輩方は、学校行事や部活動、地域行事など様々な場面で、私たち下級生の手本となり、リードしてくださいました。合唱祭では、迫力ある37人の歌声の中に、優しさも感じられる、とても素敵な合唱でした。最高学年としてふさわしい、思いが詰まった合唱にとっても感動しました。先輩方は、いつも全校生徒が笑顔になれるよう、学年関係なく声をかけてくれて、私たちは楽しい時間を過ごすことができました。そんな頼もしい先輩方が卒業してしまうことに心細さを感じます。ですが、先輩方が築いてくれたこの岩船中学校を私たち在校生がしっかりと引継ぎ、また、新たな岩船中学校を築いていけるよう日々努力していきます。

今、皆さんは胸に夢と希望を抱いて、新しい世界に羽ばたこうとしています。素敵な人生を歩まれることを在校生一同、心からお祈りいたします。

最後に卒業生の皆さんの御健康と御活躍を願い、送辞といたします。

在校生代表 江口 月姫



答辞

春を感じさせる暖かい日差しが私たちを照らし、開花を待つ桜のつぼみの息吹が感じられる季節となりました。本日、私たちのためにこのような式を挙げて下さり、誠にありがとうございます。また、ご多用の中、私たちのためにご臨席してくださいました皆様へ卒業生一同、心より感謝申し上げます。この佳き日に、私たち 37 名は岩船中学校を卒業します。

今、岩船中学校で過ごした日々を振り返ると本当に色々な日々が思い出されます。着慣れない制服に身を包み、中学校の生活に不安と期待が入り混じっていた入学式。当時、私はこれからの中学校生活に、不安を抱いていたのを覚えています。ですが、先生方や先輩方に温かく迎えられ、中学生としての自覚を高めていくことができました。そして、中堅学年 2 年生。先輩たちを支え、後輩のお手本になろうと、自分たちのレベルアップに努めました。今年度は、最高学年として学校を引っ張っていくよう、決意を改に進んできました。

「必笑 ～咲き誇れ 両軍の smile～」のスローガンのもと、開催された体育祭。各軍、夏休み前から準備をし、ダンスや競技でも色々な工夫を凝らしました。全力で楽しみ、競い合う中で、最後には、全員が笑顔の体育祭になりました。

合奏コンクールや合唱祭では、うまく行かないこともたくさんありました。しかし、仲間と協力し、試行錯誤をしながら練習を重ねたことで、最高の演奏・歌声を響かせることができました。

2 年生から準備した修学旅行では、中越方面に行き、私たちのまだ知らない新潟の良さを沢山見つけることができました。その経験を生かし、故郷岩船の良さを再発見することができました。

今思うと、コロナ禍ということをおぼろげに忘れるほど、充実した中学校生活だったことに気付かされます。こうして私たちが充実した学校生活を送り成長することができたのも、先生方や地域の方々の存在があったからです。先生方は、いつも私たちを見守り、私たちが問題を抱えて困っているときは一緒に悩んでくださり、解決しやすいように的確なアドバイスをくださいました。地域の方々からは、温かい眼差しで岩中生の頑張りにエールをいただきました。また、毎日美味しい給食を頂いたこと、安全に登下校することができたこと、大雪の日でも除雪された道で登校できたこと、私たちは沢山の人の支えていただき、3 年間、安心して過ごすことができました。ありがとうございました。

そして、私たちを一番身近なところで、助け、励ましてくれたのは家族でした。中々素直になれず、時には反抗することもありました。迷惑もたくさんかけました。進路について色々励ましてくれたり、一緒に勉強してくれたり、受験にも協力してくれました。家族のおかげで、どんな困難も乗り越えることができました。家族全員に心より感謝しています。本当にありがとうございました。

これから私たち 37 名はそれぞれ自分の進路に向かって一歩一歩自分の足で歩いていきます。壁にぶつかったとしても、岩船中学校で学んできたこと、思い出、誇りを糧に力強く生きていきます。

最後になりますが、母校岩船中学校のますますのご発展と、ご臨席いただきました皆様のご健康とご多幸をお祈りし、答辞といたします。

23 回卒業生代表 熊倉 素晴



卒業記念合唱は、嵐の「ふるさと」。すばらしい歌声と温かい気持ちを残して新たな一歩を歩み始めました

卒業式前には、3年生の感謝の気持ちを伝える「三送ウィーク」

2/27(月)～3/3(金)を「三送ウィーク」と位置づけ、生徒会本部や専門委員会で企画をした3年生への感謝を表す活動を行いました。



保健・体育委員会では、1, 2年生から3年生へのメッセージを桜の花の形で掲示したり、福祉環境・応援委員会では、階段に飾り付けをしたりしてくれました。卒業式に向けた雰囲気作りにも貢献してくれました。生徒会本部・広報・図書委員会では、卒業式練習後の時間を使って、サプライズで前任の校長先生のビデオメッセージや前任の教頭先生の Meet でのメッセージ、そして3年生の3年間の写真をスライドにして放映しました。画面を見つめる3年生の笑顔から、しっかりと気持ちが伝わったことが分かりました。1・2年生の皆さん、ありがとうございました。

その他の活動アラカルト！！



1年生の調理実習。今回は「あんパン」作りに挑戦！



1・2年生の体育では、地域コーディネーターを講師に、2週にわたって剣道の授業。

3年生の同窓会入会式。代表者が堂々と誓いの言葉を述べました。「よろしくお願いします」



最後の放課後運動は、フォークダンス。全学年で、楽しく踊り、思い出になりました。



1, 2年生全員で、生徒会活動として、福祉環境委員会の呼びかけで、「ペンキ塗り」。手洗い場と雨具掛けをきれいにして、新入生を迎える準備です。

今年度の学校だより最終号は、3/24(金)に発行いたします。よろしくお願いいたします。